

トヨコネクタ
TC3-F
取扱説明書

弊社製品を安全にご使用いただくための注意事項

弊社製品の特長を生かし、安全にご使用いただくため、ここに記載する注意事項をよくお読みのうえ、必ずお守りください。お守りいただけない場合、負傷する危険や物理的損害が発生するおそれがあります。

△警告 死亡または重傷を負う可能性がある状態。

△注意 軽傷または中程度の傷害を負う可能性がある危険状態及び物的損害のみが予想されるような危険状態。

注) 文中の※印につきましては、ホームページの用語説明をご参照ください。

トヨコネクタ TC3-F ステンレス製（トヨックスホース専用継手）

⚠ 施工上の注意

1. ホースカットの際は、ホース端面が垂直になるようにカットしてください。
2. **△警告** ホースを挿入する際に、ホース挿入部表面に油等を塗らないでください。ホース抜け発生の原因になります。
3. ホース挿入部の根元までホースが挿入されている事をご確認ください。
4. **△警告** 袋ナットは、すき間がなくなるまで締め上げてください。すき間がある状態で使用されますとホース抜けや流体漏れによるトラブルが発生します。また、締め付け時の“モンキー（モーター）レンチ”滑りによるケガをしないようにご注意ください。
5. ホース挿入部および TC3-F 型パッキン付きスリーブに刃物等で傷をつけないでください。
6. 施工後に、継手部からのホース抜けや流体漏れが生じていない事を確認してからご使用ください。
7. 締め上げには“モンキー（モーター）レンチ”をご使用ください。“パイプレンチ”は使用しないでください。袋ナット部を傷つけます。
8. 施工時には、継手の鋭利な部分でケガをしないようにご注意ください。

⚠ 使用時の注意

1. 本製品は、トヨックスホース専用のホース継手です。他社ホースおよび適合ホース以外に接続された場合は、性能を十分に発揮、維持できない場合がありますので何ら保証はいたしません。
※ 適合ホースは、継手によって異なります。カタログまたはホームページでご確認ください。
2. 適合ホースの使用温度範囲内および使用圧力範囲内でご使用ください。
3. 継手付近で、ホースを極端に曲げた状態で使用しないでください。ホースの※最小曲げ半径より大きい曲げ半径でご使用ください。
4. 振動や衝撃の起こる場所では使用しないでください。継手の破損やホース抜け発生の恐れがあります。
5. **△警告** ホース内に流体を通している時は、継手の組立・分解作業はしないでください。
流体漏れやホース抜け発生の恐れがあります。
6. ご使用中は、継手部からのホース抜けや流体漏れが発生していないか始業点検・定期点検を実施してください。
7. ホースや継手の内面以外を流体に接触させないようにしてください。ホース補強層に流体が浸透したり、継手部に流体が残り、雑菌の繁殖（付着）、ホースの劣化が発生する恐れがあります。また、外面に付着したほこりやホースの断片（補強材）、印字インクが混入する恐れがあります。
8. **△警告** 下記の用途での配管には使用しないでください。ホース破裂、ホース抜けが発生する恐れがあります。
 - 電磁弁配管等での配管内に衝撃圧がかかる配管
 - 継手部に振動および衝撃が加わる箇所
 - 使用最高温度を超える用途
 - 常にホースに引っ張りの応力がかかる用途
 - ホースに帯電するような用途（感電する危険があります）
9. 使用前には、必ずホース内の滅菌・殺菌作業をしてください。（商品出荷時は殺菌処理はしていません）
10. 洗浄時には、硬いブラシ等で表面をこすらないでください。部品表面に傷が付き雑菌が溜まる恐れがあります。
11. **△警告** 廃棄の場合は、金属部はそれぞれの地方の分別処理に従ってください。樹脂部は、燃焼すると有害ガスが発生しますので絶対に焼却せず、産業廃棄物として処理してください。

⚠ 継手の再使用とホース交換に関する注意

△注意 日々の分解洗浄用継手ではありません。

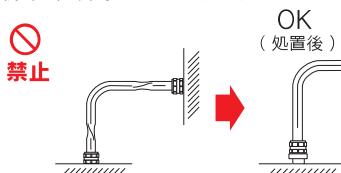
△警告 ホース交換・継手の分解作業は、継手が常温まで冷えた状態で作業してください。火傷や継手を傷める恐れがあります。

1. 本製品の再使用時には、TC3-F型パッキン付きスリーブを新しい物に交換してください。
2. 必ず新品のホースを使用してください。
3. ホース交換時には、必ず継手表面に付着した流体や汚れを取り除いてください。流体漏れやホース抜け発生の恐れがあります。
4. 使用条件等により異なりますが5回程度の取り外しを目安に新品の継手に交換してください。
5. 継手をハンマー等でたたかないでください。

⚠ 警告

1. 本製品の流路（内面）の材質はSCS16（SUS316L相当）を使用しています。
流体の種類によっては腐食や流体漏れが生じる場合があります。ご使用前にご確認（カタログ、ホームページ記載の耐薬品データ参照）またはフリーダイヤルにてお問い合わせください。継手外面への流体物の接触に関しても同様にご確認ください。
2. ホースをねじった状態で配管・使用しないでください。ねじれがかかった場合、ホースの内部構造が変形し、「破裂」に至り、危険です。
次の例を参考にして、適切な処置を講じてください。

例1) 配管時のホースのねじれ



例2) 曲げたときのねじれ

